

科目	心理学調査実習Ⅰ	単位数	1
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	臨床心理学科3年春学期		
目的	心理学の代表的研究法の1つである質問紙調査法について学習をします。質問項目の作成方法とその回答方法、ならびに調査の手續きと、尺度構成のプロセスを理解・体得することが目的です。まず、質問項目作成時に留意する点を学び、実際に質問項目を作成します。次に、作成した質問項目を使用して調査を実施し、収集した資料によって項目分析を行います。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)人間の行動、態度、思考などを的確にとらえるための項目作成について関心を持つ。 (2)質問紙調査を実施する際の倫理について関心を持つ。 (3)意欲的に、項目の分析に取り組む。 「思考・判断」 (1)人間の行動、態度、思考などを的確にとらえる項目となっているか考えることができる。 (2)分析結果をもとに、項目が妥当であるか考えることができる。 「表現・技能」 (1)コンピュータを利用し、質問紙の作成からデータの入力までをおこなうことができる。 「知識・理解」 (1)質問項目の作成方法について理解し、実践で役立てることができる。 (2)調査倫理について理解し、実践で役立てることができる。 (3)項目の分析方法について理解し、説明できる。		
授業計画			
1	質問紙調査法とは／他の研究法と比較して		
2	項目作成の基礎1／測定内容の明確化、項目作成の方法		
3	項目作成の基礎2／質問項目を整える		
4	項目作成の基礎3／項目作成にあつたての注意事項、ワーディング、内容妥当性の検討		
5	回答方法選択の基礎		
6	フェースシートの作成		
7	サンプリングの方法、調査の実施方法		
8	調査倫理の問題		
9	資料の整理1／エディティング、コーディング、欠損値の処理		
10	資料の整理2		
11	資料の整理3		
12	項目分析1／項目困難度1		
13	項目分析2／項目困難度2		
14	項目分析3／項目識別力1		
15	項目分析4／項目識別力2		
授業形態	実習		
教科書			
教科書名	著者	出版社	金額
心理学マニュアル 質問紙法	鎌原・宮下・大野木・中澤 編著	北大路書房	1,500円+tax
参考書	「調査法講義」(豊田秀樹著、朝倉書店) 「心理尺度の作り方」(村上宣寛著、北大路書房) 「SPSSとAmosによる心理・調査データ解析」(小塩真司著、東京図書) 「SPSS完全活用法データの入力と加工」(酒井麻衣子著、東京図書)		
成績評価の基準・方法	学習意欲 40% 課題提出状況と学習内容確認試験 60%		
留意点	課題の提出を頻繁に求めます		
準備学習	心理統計学の学習を終えている、あるいは本年度履修していることが望ましい。 コンピュータの操作、特にExcelの操作に熟達していること。		
備考			